

令和4年度 道徳教育 全体計画

学校番号	42	野沢南	高等学校	定 課程	普通 科
------	----	-----	------	------	------

学校教育目標
1 民主社会における正しい判断力と道義心を養う。 2 教養を高め心身を鍛えて個性を伸ばす。 3 適切な職業観を培う。
重点目標
1 基礎・基本の定着と学習意欲の向上を目指して、授業の研究・改善とICTの活用推進を図る。 2 ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、学習環境の整備を図る。 3 個に応じたキャリア教育により、生徒の進路実現と社会的自立に向けた支援を充実させる。 4 保護者・中学校・地域との連携と情報発信を進める。 5 生徒・職員の人権意識を高め、いじめ・体罰のない安全で安心な学校づくりを進める。

道徳教育の重点目標
1 学校における諸活動を通して自己を見つめ、多様な他者の存在を理解し、互いの考え方や価値観を尊重し協力しあう意識と態度を身につける。 2 他者と協働する活動を通して、集団の一員として、よりよい社会の創造に主体的に貢献できる資質・能力を養う。 3 自他の生命を尊重する態度を涵養し、一人一人の在り方生き方を尊重する高い道徳性を育成する。 4 すべての生徒が安心して学校生活を営むことができる環境をつくり、特にいじめは絶対に許さないという心を育てる。



学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等	各教科	
					国語	地理歴史
1年 2年	家庭生活、学校生活、学校外でのアルバイト等の活動を通して、多様な他者との交流を深める機会を増やす。その中で自己の特長を理解し、社会生活をよりよく過ごせる態度や技能を社会道徳的な観点を踏まえ身につけること。	社会と自己理解を深めるための基礎的な取り組みを以下の活動を通して行う。 ○自己理解のための「家族と自己史」作成。 ○インターンシップへの参加 ○アルバイト活動の推奨 ○SSTの実施 ○総合的な探究の時間と連動した地域探究活動	仲間とともに活動する中で、多様な他者を認め協力し合う態度を以下の活動を通して身につける。 ○生活体験発表会へ向けた諸活動やプレゼンテーション。 ○文化祭へ向けた共同の取り組み。 ○人権学習資料集での学び。	主体的で協働的な活動を通して少数の意見や弱い立場にある者を大切に考える態度や意識を以下の取り組みを通して身につける。 ○各クラブ活動 ○各生徒会係活動 ○文化祭	国語	言語を通して多様なものの見方・考え方を理解し、他者との協働の中で自分の考え方を相手にわかりやすく伝える力を身につける。
					地理歴史	社会との関わりを意識し、歴史認識や地域の特色文化を学ぶことで多様な社会や人間としての生き方について知見を深める態度を養う。
3年 4年	高校卒業後の具体的な進路設計をしていく中で、社会人として必須の主体的・協働的に問題解決をしていく資質や能力、とくに多様な他者とのコミュニケーション能力を高めることを社会道徳的な観点を踏まえて身につけていく。	具体的な進路選択を意識し、調査、探究活動を以下の活動を通して行う。 ○総合的な学習の時間と連動した地域の職業等の探究活動 ○SSTの実施 ○進路探究活動を通しての作文や調査探究成果を他者へ向けてプレゼン発表	仲間とともに活動する中で、上級生としての立場から主体的・協働的に課題へ取り組む態度とスキルを以下の活動を通して身につける。 ○生活体験発表会へ向けた諸活動やプレゼン発表。 ○文化祭での指導的取り組み ○卒業へ向けた各種協働作業	以下のような主体的で協働的な活動を通して、少数の意見や弱い立場にある者を大切に考える態度や意識を上級生の立場として行う。 ○各クラブ活動での指導的活動 ○各生徒会係活動での指導的取り組み ○文化祭での指導的取り組み	公民	政治、経済、倫理の学習観点から持続可能な社会をつくる個人や共同体の在り方を学び深める。
					数学	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、知的好奇心や豊かな感性、粘り強く考える態度を含め、創造性の基礎を養う。
					理科	自然の事物・現象を探究する活動を通して、道徳的判断力や真理を大切にしようとする態度を育成する。
					保健体育	体育や保健の見方・考え方を働かせ、学習過程を通して、粘り強くやり遂げる心や一人一人の違いを大切に育てる態度を養う。
					芸術	芸術における見方・考え方を働かせ、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
					外国語	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
					家庭	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、家庭や地域社会の一員としての自覚をもって自分の生き方を考える態度を育成する。
					情報	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報社会で適正な活動を行うための基となる考え方や態度を身につける。
					総合的な探究の時間	主体的・協働的な探究活動をとらえて、多様なものの見方や考え方を理解し、多様な人々の中での共生を実現する態度を養う。



家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> 校内の諸活動について、地域に開かれた学校として、地域社会との連携を深めながら生徒が主体的に社会に貢献しようとする態度を育成する。 家庭と連携し、日常生活の中で、生徒が自己を尊重するとともに他者を尊重する心を育て、よりよい社会の構成員としての自覚を高める。
-----------	--